

案内

医療事故・紛争対応研究会 第7回年次カンファレンス

日時：2月23日(土)9:30～16:00

会場：パシフィコ横浜会議センター1階
(神奈川県横浜市)

プログラム：講演「亡くなりつつある人への医的介入のあり方」—1「治療・栄養補給の差し控え・中止の判断—日本老年医学会の取り組みと現場対応」飯島節(筑波大学大学院教授), 2「治療・栄養・水分等の差し控え・中止の許容性と、母の看取りを通して見た現実」丸山英二(神戸大学大学院教授), 3「哲学者からみた看取り」加藤尚武(京都大学名誉教授)／基調講演「医療事故と管理監督責任」井田良(慶応義塾大学常任理事)／シンポジウム「医療安全と医師・看護師の人事管理」—1「医療安全と医師の人事管理」佐治文隆(市立芦屋病院事業管理者), 2「医療安全と看護師の人事管理」秋山智弥(京都大学医学部付属病院看護部長)

対象：医師・看護師・薬剤師・医療技術者・事務職員・医療安全管理者など

定員：750人(先着順)

参加費：

(～2/8)会員4000円、非会員5000円
(2/9～)会員6000円、非会員7000円(事前申込のうち参加費未納者を含む)

申し込み：FAX またはホームページ

申し込み・問い合わせ：

FAX：0120-286-575

E-mail：infosmcm-group@umin.ac.jp
(問い合わせ専用)

http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html

案内

第24回日本臨床 モニター学会総会

日時：4月19日(金)・20日(土)

会場：奈良県新公会堂(奈良県奈良市)

プログラム：「特別講演」青柳卓雄(2002年紫綬褒章), 北山修(九州大学名誉教授, 北山精神文化研究所)／「教育講演」丸山征郎(鹿児島大学特任教授), 川口昌彦(奈良県立医科大学麻酔科学教室)／「医療安全セミナー」坂本すが(日本看護協会会長), 阿部幸恵(琉球大学医学部地域医療教育開発講座), 田村由美(滋慶医療科学

大学院大学), 小野哲章(滋慶医療科学大学院大学医療機器安全管理学), 鈴木利保(東海大学麻酔科教授)／シンポジウム「在宅・遠隔モニタリングの最先端」野々木宏(静岡県立病院副院長), 菊尾七臣(自治医科大学循環器内科主任教授), 麻野井英次(射水市民病院病院長), 野出孝一(佐賀大学医学部循環器内科学教授)／パネルディスカッション／「教育セミナー」池田隆徳(東邦大学大森医療センター循環器内科教授)・山蔭道明(札幌医科大学麻酔科学講座教授)／「歯科医のためのモニタリング講座」／「最近のモニタリングに関する基礎教育講座」その他

参加費：医師1万円, 歯科医師5000円, 看護師・臨床工学士・薬剤師・臨床検査技師・歯科衛生士・歯科助手・歯科技工士3000円, 臨床研修医・学生無料

問い合わせ：JTBコミュニケーションズ
コンベンション事務局

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル4階

TEL：06-6348-1391

FAX：06-6454-4105

E-mail：24jaccm@jtbcom.co.jp

http://depoc.net/monitor24/index.html

案内

第4回日本プライマリ・ ケア連合学会学術大会

日時：5月17日(金)～19日(日)

会場：仙台国際センター(宮城県仙台市)

テーマ：新しい地域医療を開く—がんば
ろう日本

プログラム：特別講演「日本の覚悟(仮)」柳田邦男(ノンフィクション作家), 「突破する力」伊藤智也(ロンドンパラリンピック銀メダリスト)／特別シンポジウム「大災害で地域医療をどう守るか」石井正(東北大学教授・元石巻赤十字病院部長), 「総合医か総合診療医か」福井次矢(聖路加国際病院院長)／シンポジウム「今どきの患者トラブルにどう対処するか」尾藤誠司(国立病院機構東京医療センター臨床研修科医長), 「地域におけるがん対策」曾根三郎(JA高知病院院長), 「地域力と医療再生」内藤広郎(みやぎ県南中隔病院院長), 「どうする健康格差と不平等」近藤克則(日本福祉大学教授), 「あなたのための医療安全」森本剛(近畿大学医学部

救急総合医療センター教授), 「在宅・看取りの今」川島孝一郎(仙台北診療クリニック院長), 「訪問診療・看護を創る」川合秀治(松原クリニック訪問診療部長), 「新しい医療計画で何がかわるか」永井康德(たんぼほクリニック院長), 「臨床倫理とプロフェッショナリズム」大生定義(立教大学教授), 「再び問う老いのケア」太田秀樹(医療法人アスミス理事長)／その他
※5月17日被災地視察(石巻市)

参加費：

(～3/29)医師・歯科医師・薬剤師1万2000円, 初期研修医8000円, その他のメディカルスタッフ・研究者6000円, 学生2000円, 情報交換会4000円(別途)

(当日)医師・歯科医師・薬剤師1万5000円, 初期研修医1万円, その他のメディカルスタッフ・研究者8000円, 学生2000円, 情報交換会6000円(別途)

被災地視察1000円(定員90名=要申込み)

問い合わせ：運営事務局

〒980-6020 仙台市青葉区中央4-6-1
住友生命仙台中央ビル 株式会社リネ

ケイ東北内

TEL：050-3386-05644

FAX：022-722-1658

E-mail：jpca2013@c-linkage.co.jp

http://www.c-linkage.co.jp/jpca2013/

案内

第19回日本看護診断学会 学術大会

日時：6月22日(土)・23日(日)

会場：旭川市民文化会館, 旭川グランド
ホテル(北海道旭川市)

テーマ：チーム医療と看護診断

プログラム：大会長講演「挑む！チーム医療に活かす看護診断」上田順子(旭川医科大学病院)／特別講演「看護診断開発の国際化」上鶴重美(ナンディングインターナショナル次期理事長)／「米国のチーム医療と看護診断」阿部典子(アイオワ大学)／教育講演「チーム医療とは何か」細田満和子(星槎大学), 「クリティカルケア領域のチーム医療と看護診断」黒田裕子(北里大学), 「レジリエンスの理解」本郷久美子(三育学院大学), 「チーム医療の将来像」中村恵子(札幌市立大学)／ほか

参加費：

(～5/20)会員8000円, 非会員1万円

INFORMATION

(当日) 会員 1 万 1000 円, 非会員 1 万 3000 円

学生 3000 円

問い合わせ: 事務局(ジー・プロモーション)

TEL: 011-768-7814

FAX: 011-768-7804

E-mail: 19jsnd@g-promotion.com

http://jsnd19.umin.jp/

案内・演題募集

第 7 回日本慢性看護学会 学術集会

日時: 6 月 29 (土)・30 (日)

場所: 兵庫医療大学(兵庫県神戸市)

テーマ: 慢性看護の近未来

プログラム

6 月 29 日: 会長講演「慢性看護の近未来」土居洋子(兵庫医療大学看護学部)／招聘講演「The role expansion of UK Nurse and Nurse Prescribing」Helen Ward (London South Bank University)／シンポジウム「慢性看護における高度実践看護師教育プログラム」

6 月 30 日: 特別講演「慢性看護の本領発揮のために—外来看護に関わる診療報酬評価の現状と課題」数間恵子(元東京大学大学院医学系研究科)／教育講演 I「Evidence-Based Nursing—エビデンスを作る・使う」柴山大賀(筑波大学医学医療系)／教育講演 II「多死社会に備える」大蔵暢(東京ミッドタウンクリニック在宅医療部)

参加費:

(~ 5/24) 会員 9000 円, 非会員 1 万 1000 円

(当日) 会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円

【演題・交流集会募集期間】

2 月 5 日(火)~ 28 日(木)

問い合わせ: 事務局

〒650-8530 神戸市中央区港島 1-3-6

兵庫医療大学看護学部

E-mail: mansei2013@huhs.ac.jp

http://www.secretariat.ne.jp/jscin7/

案内

第 26 回日本看護福祉学会 学術集会

日時: 7 月 6 日(土)・7 日(日)

会場: 久留米大学旭町キャンパス(福岡県久留米市)

テーマ: 保健・医療・福祉を支える多職種連携

プログラム

7 月 6 日(久留米大学筑水会館): 大会長講演「保健医療福祉サービスにおける多職種連携の重要性」中島洋子(久留米大学医学部看護学科教授)／基調講演「認知症医療の最新情報」森田喜一郎(久留米大学高次脳疾患研究所教授)／シンポジウム「認知症の人を支える地域ネットワークの構築」小路純央(久留米大学病院精神科医), 大谷のみ子(東類会グループホームふぁみりえ長), 得居みのり(姫路聖マリア病院地域連携室長老人看護専門看護師), 吉山稔(久留米西地域包括支援センター管理者主任看護支援専門員)

7 月 7 日(久留米大学医学部看護学科): 研究発表／全体交流集会「セルフ・ヒーリングタッチを体験してみよう—すぐ使える, 毎日使える, ケア実践者のための自己管理法」橋本ルミ(ゴールデンウエスト大学看護学部教授)／交流集会 I「九州北部豪雨災害支援でできたこと, できなかったこと」, 2「地域につなががん医療と在宅ケア」, 3「地域で暮らす—精神障がい者支援ネットワーク」

参加費: 会員(~ 5/31) 5000 円, (当日) 6000 円

非会員 6000 円(1 日のみ参加 3000 円), 院生を除く学生 1000 円

問い合わせ:

大会事務局(中島・古村・草場)

TEL: 0942-31-7714

FAX: 0942-31-7715

http://kangofukushi.sakura.ne.jp/

案内・演題募集

日本小児看護学会 第 23 回学術集会

日時: 7 月 13 (土)・14 (日)

場所: 高知市文化プラザかるぼーと(高知県高知市)

テーマ: 子どもと家族の力を支える倫理的判断にもとづく小児看護の創造

プログラム: 会長講演「子どもと家族の力を支える小児看護をめざして—子どもの権利と家族の権利を擁護する(仮)」中野綾美(高知県立大学看護部)／特別講演

「医療の中で命と向き合いながら考える子どもの最善の利益」玉井真理子(信州大学医学部保健学科准教授)／教育講演「小児看護を創る—子どもが子どもらしく生きることができる社会づくり(仮)」片田範子(兵庫県立大学看護学部教授)／シンポジウム「子どもがその子らしく生活するためのチームアプローチの創造(仮)」／テーマセッション I「小児慢性疾患を持つ子どもの学校・家庭・地域との連携—小児糖尿病を理解してもらうための取り組み(仮)」, II「事例検討を通じた子どもと家族の力を支える看護の共有」, III「家族エンパワーメントの視点から子どもと家族の力を支える実践知(仮)」, IV「子ども虐待における看護師の役割と活動成果—小児救急指定看護師の活動を通して」, V「在宅ケア(仮)」, VI「子どもと家族の力を支える外来看護の可能性—外来て看護師が子どもや家族のためにできること(仮)」, VII「退院した医療的ケアの必要な子どもは学校でどのように過ごしているの?」, VIII「プレバレーションを行った子どもの反応を看護師はどのようにみているのか, ケースをとおして考えてみよう」, IX「投稿論文ははじめの一步パート 2 (仮)」, X「子どもの臓器移植に関して(仮)」, XI「診療報酬に関するテーマセッション(仮)」

参加費:

(事前) 会員 9000 円, 非会員 1 万 1000 円(当日) 会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円

【演題募集締切】 2 月 18 日(月)

問い合わせ: 事務局

〒781-8515 高知市池 2751-1 高知県立大学看護学部

E-mail: jschn23@cc.u-kochi.ac.jp

http://www.jschn23.com

案内・演題募集

第 16 回日本地域看護学会 学術集会

日時: 8 月 3 (土)・4 (日)

場所: ホテルクレメント徳島(徳島県徳島市)

テーマ: 地域の人々を支える力の共有

プログラム:

会長講演「生活の質と地域の力の共有」多田敏子(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域看護学分野)／基調

講演「人とのつながりを科学する—私からあなたに」白山靖彦(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域医療福祉学分野)／特別講演「子ども虐待から学ぶこと—子どもの心の発達のための養育支援の連携・継続性」二宮恒夫(徳島大学医学部保健学科客員教授)／シンポジウム「子育て支援困難者への支援—支援拒否者、虐待とは気づいていない人への支援を考える」谷洋江(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)／市民公開シンポジウム「新たな支えあいを目指して」／その他

参加費：

(～6/28) 会員 9000 円、非会員 1 万円、院生を除く学生 2000 円

(当日) 会員 1 万円、非会員 1 万 1000 円、院生を除く学生 3000 円

懇親会：会員・非会員とも事前 6000 円、当日 7000 円、院生を除く学生(事前・当日とも) 3000 円

申し込み：1 人 1 枚の郵便局振替用紙にて、氏名、住所、電話番号、会員番号を明記し、01620-8-132290／日本地域看護学会第 16 回学術集会宛てに参加費を振り込む

【演題募集】

発表資格：共同研究者を含め会員であること

発表形式：すべて示説

申し込み締切：2 月 28 日(木) 16:00

※詳細はホームページ参照

問い合わせ：事務局

〒770-8509 徳島市蔵本町 3-18-15
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域看護学分野

TEL & FAX: 088-633-9033

E-mail: tokushimachiiki@gmail.com

http://jachn.umin.jp/meeting/m16/in-

dex.html

助成

山路ふみ子専門看護教育 研究助成基金 第 23 回(平成 25 年度) 研究助成候補者募集

研究助成の主旨：看護学の諸分野の研究に対する助成を行い、もってわが国の看護の質的向上を通じ、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とします。特に、看護実践の科学的根拠の確立、及び看護方法の開発・評価(システムを含み、あるいはエビデンスの確立)に資する研究を助成します。また、今年度は特に、先端科学技術と看護学諸分野の接点を目指した創造的研究を期待します。

助成金交付予定額：約 20 人(1 件 150 万円以内・使用期限／使用内訳制限あり)

応募資格：次のすべての条件を満たす者

(1) 日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師、(2) 国内または国外の大学院博士後期課程の正規生または博士後期課程修了後の研究生(いわゆるポストドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中の者、(3) 学識、人物ともに優秀でかつ健康であって、将来看護職の教育、指導又は看護研究に携わると認められる者、(4) これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者。尚、給与収入がある者および大学院博士課程 1 年生は原則として応募資格を有しない。

応募方法：所定の申込書、推薦書による
※詳細は三井住友信託銀行ホームページ参照

申し込み締切：3 月 29 日(金)必着

助成金交付期日：6 月下旬

問い合わせ：受託者(申請書提出先)

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1
中央三井信託銀行・リテール受託業務部・公益信託グループ(担当：木村道典)
TEL: 03-5232-8910
FAX: 03-5232-8919
E-mail: Kimura_Michinori@chuomit-sui.jp
http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html

募集

首都大学東京健康福祉 学部看護実践研究・ 研修センター 認定看護師教育課程 がん化学療法看護分野 平成 25 年度研修生募集

募集人員：30 名

研修期間：9 月 2 日～2014 年 3 月 31 日
(7 か月)

選考料：3 万円

受講料：50 万円

出願期間：5 月 7 日(火)～23 日(木)必着

試験日：6 月 8 日(土)(筆記試験、小論文、面接)

合格発表：6 月 21 日(金)

募集要項・出願書類：ホームページよりダウンロード

問い合わせ：〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10

首都大学東京健康福祉学部認定看護師教育課程 荒川キャンパス学務課教務係
TEL: 03-3819-1211

http://www.hs.tmu.ac.jp